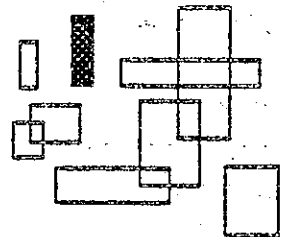
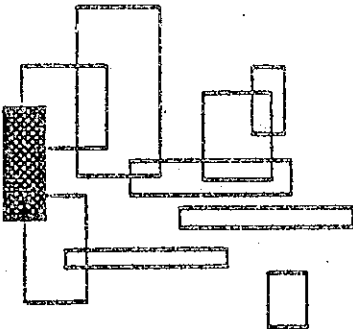

*
* 電子計算機センター *
*
* ニュース NO. 54 *
*

佐賀大学
電子計算機センター
内線(2592)
1986年9月18日

1. 主メモリーの増設について
2. FORTRAN77における日本語処理の使用法
3. COBOLにおける日本語処理の使用法
4. AIFでの利用
5. NLPによるプロッター出力



1. 主メモリーの増設について

日本語システムの導入にともない、主メモリーが2MBから6MBへ大幅に増設されました。

2. FORTRAN 77における日本語処理の使用方法

日本語処理を使用したFORTRAN 77を、実行する例を下記に示します。

例：

① ②

¥ FORT77 ジョブ名, 課題番号, PSW=ハースワート, SOUT=N, CPARA='JCONST(N)'

プログラム

¥/

データ

¥ JEND

① 日本語を使用する場合には出力クラスをNに変更しなければいけません。

その指定が、"SOUT=N"です。

② 日本語定数対応表を出力したい場合に、"CPARA='JCONST(N)'"を指定します。

※ FORTRAN 77における日本語処理の文法については、マニュアル「FORTRAN 7.7文法書」の第11章 日本語処理 (P111) をごらん下さい。

3. COBOLにおける日本語処理の使用方法

日本語処理を使用したCOBOLを、実行する例を下記に示します。

例：

¥ CBL ジョブ名, 課題番号, PSW=ハースワート, SOUT=N

プログラム

¥ PD UIN=*

データ

¥ JEND

注) 日本語定数対応表は自動的に出力されます。

※ COBOLにおける日本語処理の文法については、マニュアル「COBOLプリプロセッサ手引書」をごらん下さい。

4. A I Fでの利用

1) LISTコマンドでデータセットのリストをNLPに出力する場合。

READY

LIST データセット名 SY(N) **ENTER**

READY

2) RUNコマンドで実行した計算結果をNLPに出力する場合。

READY

ALLOC F(LIST) SY(N) **ENTER**

READY

RUN ユーザ指定名 FORT77 JEF **ENTER**

READY

FREE F(LIST) **ENTER**

READY

5. NLPによるプロッター出力

プロッター出力をNLP（日本語プリンター）に出力することができます。
 今までは、プロッター出力をそのままプロッター装置に出力していましたが、NLPに出力する場合は、プロッター出力のデータを一旦データセットに保存し、それを`PSPCNV`（図形出力変換）というモジュールで、プロッター出力データを加工することによりNLPに出力することができます。

`PSPCNV`の機能として作成した図形をNLPに拡大、縮小及び回転して出力することができます。

使用例

4.1 プロッター出力データをデータセットに保存するための制御文

(1) プログラム・データがカードの場合

¥ FORT77 ジョブ名, 課題番号, PSW=パスワード
 YGO.XY FD U16=DA, VOL=WORK, FILE=プロッター出力データのデータセット名, DISP=CAT,
 TRX=(10,10,RLSE)

プログラム

¥/

データ

¥ JEND

(2) プログラムがデータセットに保存されている場合

¥ FORT77 ジョブ名, 課題番号, PSW=パスワード
 ¥FORT.SLIB FD SLIB=DA, FILE=プログラムのデータのデータセット名 [, MEMBER=メンバー名]
 YGO.XY FD U16=DA, VOL=WORK, FILE=プロッター出力データのデータセット名, DISP=CAT,
 TRX=(10,10,RLSE)

データ

¥ JEND

(3) プログラム・データがデータセットに保存されている場合

```

* FORT77 ジョブ名, 課題番号, PSW=パスワード
* FORT.SLIB FD SLIB=DA, FILE=プログラムのデータセット名 [, MEMBER=メンバー名]
* GO.UIN FD UIN=DA, FILE=データのデータセット名 [, MEMBER=メンバー名]
* GO.XY FD U16=DA, VOL=WORK, FILE=プロッター出力データのデータセット名, DISP=CAT,
      TRK=(10,10,RLSE)
* JEND

```

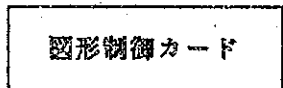
注) [] 内は省略可能

4.2 プロッター出力データをNLPに出力するための制御文

```

* NPLOT ジョブ名, 課題番号, PSW=パスワード, FILE=プロッター出力データのデータセット名

```



```

* JEND

```

注) NLPに出力するための必要な制御文はマクロ化しており、その呼出しが "NPLOT" となっています。

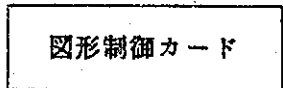
プロッター出力データが保存されているデータセットは、ジョブの実行が終了と消去されます。

4.3 NLPへの出力までを、ひとつのジョブで行いたい場合

```

* EX PSPCNV, RSIZE=768
* FD PRGLIB=DA, FILE=APPL.LINKLIB
* FD XYSYS=DA, FILE=プロッター出力データのデータセット名, DISP=DLT
* FD WORK=DA, VOL=WORK, CYL=(3,3)
* FD GDFILE=DA, VOL=WORK, SOUT=(N, PGM=KNGWTR), TRK=(5,5)
* FD SYSPRINT=DA, VOL=WORK, TRK=(5,5), SOUT=N
* FD SYSIN=*

```



上記の制御文を、 " * JEND " の前に挿入します。

【例】

¥ FORT77 ジョブ名, 課題番号, PSW=パスワード, SOUT=N
 ¥GO.XY FD U16=DA, VOL=WORK, FILE=プロッター出力データのデータセット名, DISP=CAT,
 TRK=(10, 10, RLSE)

プログラム

¥/

データ

¥ EX PSPCNV, RSIZE=768
 ¥ FD PRGLIB=DA, FILE=APPL.LINKLIB
 ¥ FD XYSYS=DA, FILE=プロッター出力データのデータセット名, DISP=DLT
 ¥ FD WORK=DA, VOL=WORK, CYL=(3, 3)
 ¥ FD GDFILE=DA, VOL=WORK, SOUT=(N, PGM=KNGWTR), TRK=(5, 5)
 ¥ FD SYSPRINT=DA, VOL=WORK, TRK=(5, 5), SOUT=N
 ¥ FD SYSIN=*

図形制御カード

¥ JEND

注) プロッター出力は、NLPに出力されるのでジョブ制御文(¥ FORT77)に
 "SOUT=N"を指定する必要があります。
 指定しないとプログラムリストはカフェテリア室のプリンターへプロッター出力はN
 LPへ出力されます。

※ 図形制御カードについての詳しい資料は、センター業務室に準備しています。